



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

## 第4回食品廃棄対策委員会

### “食品廃棄に関する生活者の意識調査結果報告” & “事業者の食品廃棄削減への取り組み”

1月28日、JAビルカンファレンスにて第4回の食品廃棄対策委員会が開催されました。

会の前半は、事務局から食品廃棄削減に向けた生活者の意識調査の結果報告と今後の取り組みについて説明を行いました。今回の調査では、生活者の食品廃棄の頻度から特徴的な傾向を見つけ出し、その項目を周知啓発することで効果的に家庭での食品廃棄を減少させることを目的とした調査となっています(調査結果については、生団連HPの活動ページ「食品廃棄問題への対応」にてご覧いただけます)。

続いて、委員を代表して食品メーカー3社(江崎グリコ様、さとの雪食品様、ヤマサ醤油様)より、賞味期限の設定方法や食品廃棄削減につながる取り組み等についてお話をいただきました。

江崎グリコ様からは全日本菓子協会を代表して、お菓子の賞味期限の設定方法や各カテゴリーの特性についてご説明いただくとともに、菓子業界における賞味期限の延長に取り組まれた実績について等ご報告をいただきました。

次に、さとの雪食品様からは、豆腐の賞味期限の設定方法の説明と、賞味期限が通常10~20日程度の豆腐を特殊な製造方法、包装技術によって180日まで延長させた商品についてお話をいただきました。また、豆腐製造時に発生するおからについて、再利用や資源化などの循環システムについてご説明いただきました。

最後にヤマサ醤油様から、醤油の賞味期限の設定方法の他、開封後も鮮度を120日保持することに成功した商品についてお話をいただきました。また、資源のリサイクルを徹底し、リサイクル率98.8%を達成させるなど、環境への取り組みについてもお話をいただきました。

会の後半では、今後の取り組みについて建設的なご意見を頂戴し、生活者への周知啓発については、「意識」「知識」「管理」の3点を中心行うこととしました。今後は、早々の実施に向け委員のご意見を踏まえながら具体化させてまいります。また、事業者としての対応策や期限表示の在り方について、理解を深めながら検討を進めていくこととしました。



生団連は清水信次会長(㈱ライフコーポレーション会長)の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取り組んでいます。

#### 【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp  
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>

## 定例勉強会開催 ～ 政治評論家 浅川博忠先生 ～

12月9日、憲政記念館にて国際経済研究所との共催で定例勉強会を開催しました。今月は講師に政治評論家の浅川博忠先生をお招きし、「安倍政権と都知事選のゆくえ」というテーマでご講演をいただきました。

浅川先生の主要候補に対する分析は、豊富な人脈と綿密な取材によるものであり、都知事選の趨勢に対する明快な解説に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また今回はゲストとして松原仁先生(衆議院議員、民主党国会対策委員長)も出席され、人材資源の活用と東京をアジア最強の都市としていかに活性化させるかについてお話がありました。



浅川博忠先生



松原仁先生

## 事務局視察 ～ 久喜・いきいきサロン ～

高齢者を地域で支える活動について知見を深めるため、埼玉県久喜市で活動している「いきいきサロン」を視察しました。

いきいきサロンは、家に閉じこもりがちで支援が必要な高齢者を対象に、趣味活動やレクリエーションを通して元気になってもらうため、70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催されております。そしてこの活動は、地域の有志スタッフにより手作りで運営されています。

今回はマジックショー・舞踊・振袖の着付けなどが行われました。演者さんも日頃鍛えた技術を存分に披露し、会場は大いに盛り上がりました。

昼食にはスタッフの方々が作ったカレーを和気藹々と食べました。

今回の視察で、参加された高齢者の皆さんの笑顔と生き活きた姿が非常に印象に残りました。仲間と交流すること・何かに取り組むことが心身の活力につながり、元気で楽しく暮らす大きな力になることを体感しました。

生団連も昨年人口減少と超高齢社会に対応するために委員会を立ち上げました。本格的な取り組みはこれからですが、会員の皆様と力を合わせて女性や高齢者の暮らしを元気にする活動を目指していきたいと考えます。

